



2020年10月30日

各位

会社名 株式会社アイ・アールジャパンホールディングス
 代表者名 代表取締役社長・CEO 寺下史郎
 (コード番号：6035 東証一部)
 問合せ先 経営企画部長 古田温子
 (TEL. 03-3519-6750)

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年7月31日に公表いたしました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想及び期末配当予想につきまして、以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

① 2021年3月期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,000 ～9,500	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	9,700	4,700	4,690	3,150	177.36
増減額 (B-A)	700 ～200	—	—	—	—
増減率 (%)	7.8 ～2.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	7,682	3,626	3,611	2,445	137.32

② 修正の理由

2020年10月30日時点において、新型コロナウイルス感染症による影響は、依然として不透明な状況となっておりますが、2021年3月期の通期連結業績予想について、SR業務の順調な拡大とともに、PA・FAの投資銀行業務の大型プロジェクトの受託が増加することを見込み、前回公表のレンジ形式での売上高のみの開示からあらためて業績予想を算定いたしました。その結果、通期見通しにおける売上高は前回公表の上限値より200百万円増加の9,700百万円となり、前期より2,017百万円増加し、営業利益は前期より1,073百万円増加し4,700百万円、経常利益は前期より1,078百万円増加し4,690百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期より704百万円増加し3,150百万円となり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期実績を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正

① 修正の内容

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2020年7月31日公表)	—	45円00銭	70円00銭
今回修正予想	—	50円00銭	85円00銭
増減額	—	+5円00銭	+15円00銭
当期実績	35円00銭(※)	—	—
前期実績 (2020年3月期)	25円00銭	45円00銭	70円00銭

※ 当社は、2020年9月30日を基準日とする配当（中間配当）について、前回予想から10円増額した35円00銭に引き上げております。詳細につきましては、本日付にて開示いたしました「剰余金の配当（中間配当）（増額）に関するお知らせ」をご覧ください。

② 修正の理由

当社は、健全な事業活動を行う上で必要な内部留保を確保し、財務の健全性を維持しつつ、連結配当性向50%程度を目標とし、業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

2021年3月期の期末配当予想につきましては、1株につき45円を前回予想しておりましたが、通期連結業績予想の上方修正を踏まえ、5円引き上げの1株につき50円に増配することとし、前回予想を修正することといたしました。これにより年間配当額は中間配当と合わせ85円となり、前期に比べ1株につき15円の増配となる予定です。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上